

# あかしあ台小学校に通う児童を対象とした「放課後の子どもの居場所」アンケート調査レポート

あかしあ台小学校区まちづくり連絡協議会 子ども部会

要約：本アンケートは保護者にお尋ねしたものである。その結果、(1)放課後の子どもの過ごし方には様々な過ごし方があること、(2)「放課後の子どもの居場所」の在り方で最も期待の高かったのは「安心安全に過ごせる場」、次いで「自由な遊びと学びの場」であること、(3)40%強の方が居場所づくりにご協力して頂ける可能性のあることなどが明確になった。今後、これらの結果を踏まえて、地域として、どのように取り組むのか検討を深めていく必要がある。

## 1. はじめに

「放課後の子どもの居場所」について、あかしあ台小学校区まちづくり協議会（以下、まち協と称す）の井戸端会議などにおいて実態を把握する必要性が指摘されたことから、まち協子ども部会に「子どもネットワーク会議」を設置しアンケート調査を進めることになった。

## 2. 調査目的

本アンケートは、「放課後の子どもの居場所」について、あかしあ台小学校に通う児童の保護者の皆さまがどのように考えておられるかをお尋ねし、その結果を地域として共有するとともに放課後の子どもの居場所づくりに資することを目的としている。

### 2. 調査期間

平成29年3月1日～3月15日

### 3. 調査対象

あかしあ台小学校に通う児童の保護者

### 4. 調査方法

あかしあ台小学校のご協力のもとに、お子さまを通じて保護者に配布し、回収を行う。

### 5. 回収状況

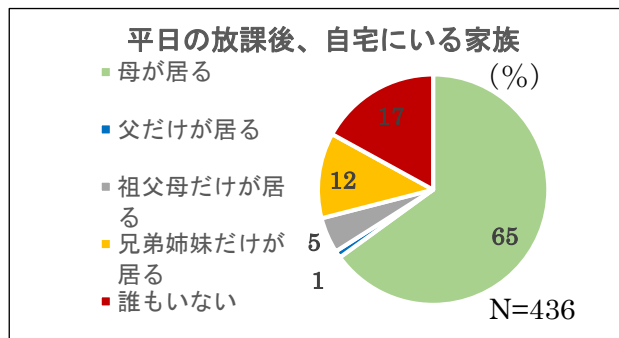
回収数：436部、回収率：85%

### 6. 調査結果

#### 6-1 放課後の家庭環境

平日の放課後の家庭環境について調べた。自宅に1人(他に誰もいない)の子どもの比率は、全回答者の17%あった。兄弟姉妹だけの子どもを含めると29%程度と見込まれる。

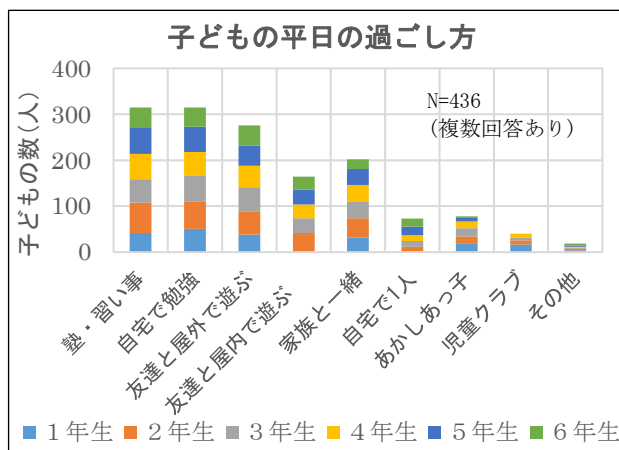
なお、大人のいない家庭に大人が帰る時間は、午後5時まで25%、6時まで65%、7時まで84%であった。



#### 6-2 お子さまの放課後の過ごし方

##### (1) 平日の過ごし方

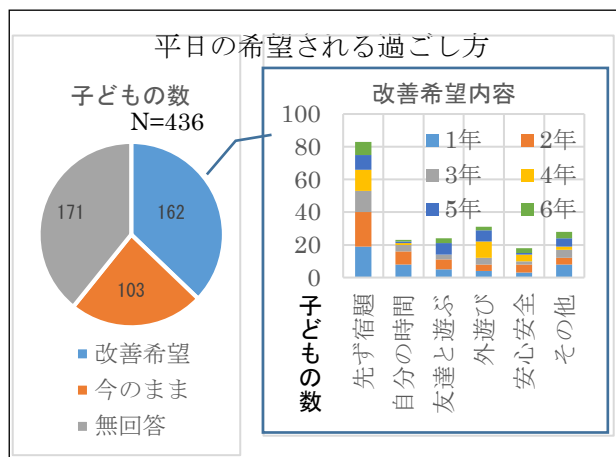
平日の過ごし方で最も多かったのは「塾・習い事」と「自宅で勉強」で両者とも全回答者の72%であった。次いで、「友達と屋外で遊ぶ」63%であった。以下「家族と一緒に」46%、「友達と屋内で遊ぶ」38%、「あかしあっ子に行く」18%、「自宅で1人」17%、「児童クラブに行く」9%の順であった。学年別もほぼ同様の順であったが、「自宅で1人」は高学年になるほど多くなる傾向がみられた。



平日に希望される過ごし方については、自由記述方式で回答頂いた。そこで、回答頂いている現状の過ごし方と対比し、改善を希望されているのか、今のままで良いと思われているのかについて

個々に考察した上で改善希望内容を整理した。

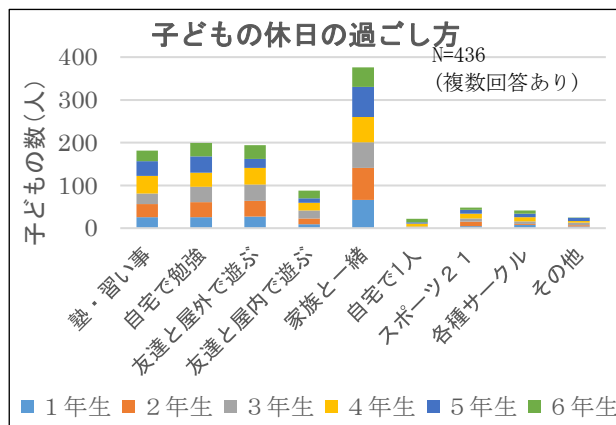
その結果は、改善希望の方が37%、今のままで良いとする方が24%と考えられることが分かった。なお、無回答の方は39%であった。学年別にみると、低学年ほど改善希望が高い傾向にあった。



改善希望の内容について最も多かったのが、「先ず宿題をする」で全回答者の51%であった。次いで、「自分の時間を持つ」19%、「友達と遊ぶ」15%、「外遊び」14%、「安心安全」11%の順であった。学年別では、「先ず宿題をする」については各学年ともに多かったが、「自分の時間を持つ」と「友達と遊ぶ」は高学年になると多くなる傾向が見られた。一方、「外遊び」は低学年で多い傾向にあった。

## (2) 休日の過ごし方

休日の過ごし方で最も多かったのは「家族と一緒に」で86%であった。次いで、「自宅で勉強」46%、「友達と屋外で遊ぶ」44%、「塾・習い事」42%、「友達と屋内で遊ぶ」20%、「スポーツ



21に行く」11%、「自宅で1人」5%の順であった。学年別もほぼ同様の傾向であった。

休日に希望される過ごし方についても、自由記述方式で回答頂いたため、平日と同様の考察を行った。

その結果、改善希望の方が36%、今のままで良いとする方が16%と考えられることが分かった。なお、無回答の方は48%であった。学年別にみると、平日と同様に低学年ほど改善希望が高い傾向にあった。

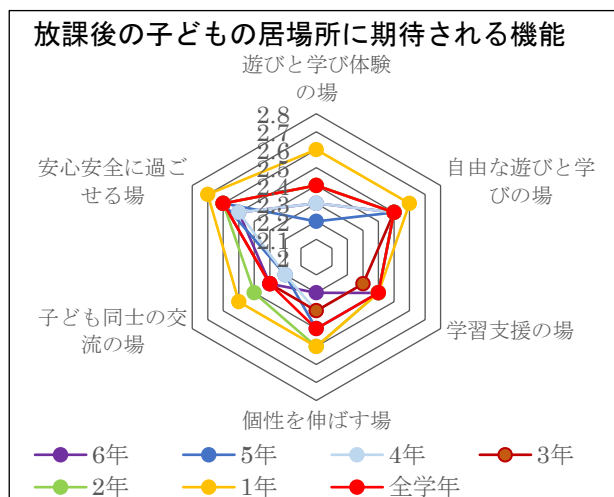
改善希望の内容について最も多かったのが、「家族と一緒に」で36%であった。次いで、「自分の時間を持つ」32%、「イベントなど参加」13%、「外遊び」12%、「先ず宿題をする」と「友達と遊ぶ」11%の順であった。学年別もほぼ同様の傾向であった。

## 6-3 放課後の子どもの居場所の考え方

### (1) 子どもの居場所に期待される機能

放課後の子どもの居場所に期待される機能について、増やす3点、現状2点、減らす1点、必要ない0点として、回答頂いた方の平均点数を求めてみた。

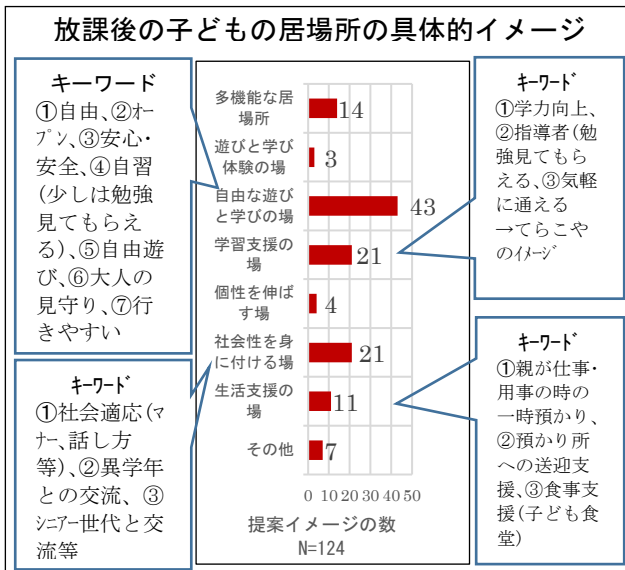
その結果、「安心安全に過ごせる場」が最も高く2.6点であった。次いで、「自由な遊びと学びの場」2.5点、「遊びと学び体験の場」と「学習支援の場」と、「個性を伸ばす場」が、いずれとも2.4点、であった。そして、「子ども同士の交流の場」は2.3点であった。



学年別では、1年生は、「学習支援の場」を除いて全学年の平均を上回った。2年生は、「個性を伸ばす場」、「交流の場」の2つの機能で全学年平均を上回った。4年生以上は、いずれも全学年平均よりも下回る結果であった。

## (2) 子どもの居場所の具体的なイメージ

放課後の子どもの居場所の具体的なイメージに関して、124件の提案があった。



提案のあったイメージは、8つに分類できると考えられる。

1つ目は、先に述べた各機能を総合した「多機能な居場所」である。三田市外の地域で開設されているところもある「児童館」のイメージのものである。

2つ目は、「学びと遊びの体験の場」である。あかしあ台小学校区の「あかしあっ子広場」において、現在、主に取組まれている子ども教室に相当する。

3つ目は、「自由な遊びと学びの場」である。三田市でも他の地区で既に取り組まれているところもある。

4つ目は、「学習支援の場」である。これも三田市の他の地区で既に取り組まれているところもある。

5つ目は、「個性を伸ばす場」である。スポーツや文化活動を通じて個性を伸ばす取り組みであ

り、スポーツ21や各種サークル活動が相当する。

6つ目は、「社会性を身に付ける場」である。異学年や地域の大人との交流活動をベースとするが、社会性を身に付ける明確な目標を持つところに特徴があるものと考えられる。

7つ目は、「生活支援の場」である。夫婦共働きが多くなってきている社会経済環境変化によるものと考えることが出来る。

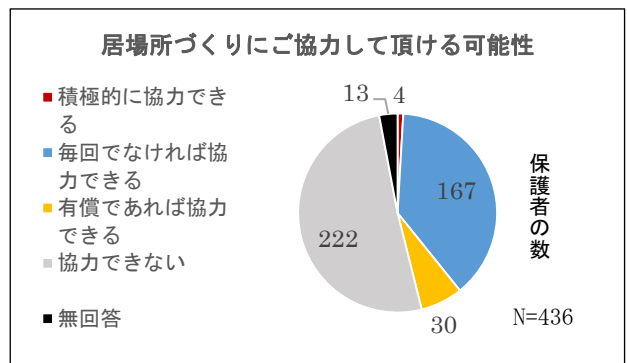
8つ目は、「その他」である。ゲームに夢中になる子ども対策などの必要性が指摘された。

この内、「自由な遊びと学びの場」に対して具体的なイメージの提案が最も多く、関心の高いことが伺える結果であった。

## 6-4 居場所づくりにご協力頂ける可能性

### (1) どの程度ご協力頂けるか

放課後の子どもの居場所づくりに関して、積極的にご協力頂ける方が1%弱、毎回でなければ協力頂ける方が38%、そして、有償であれば協力できると答えた方が7%だった。これに対して、協力できないと答えた方が51%と半数強を占めた。学年別の特徴は特に見られなかった。



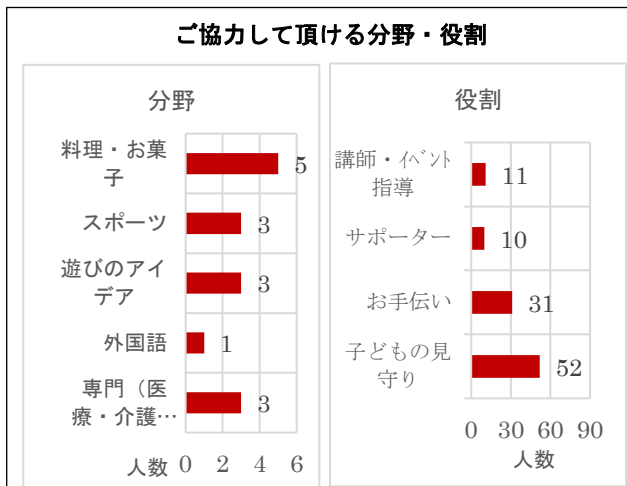
### (2) どんなことにご協力頂けるか

ご協力頂ける方で、その内容をお答え頂いたのは、分野別で15件、役割別で104件あった。

分野別では、お料理から手芸、読み聞かせ、スポーツ、遊びのアイデア、外国語の他、医療・介護等の専門分野に至るまで、広範囲な分野でご協力頂ける可能性のあることが分かった。

又、役割別では、子どもの見守りや宿題を見て頂くこと及びお手伝いに対するご協力の可能性

についてかなり高いことが分かった。そして、講師・イベント指導・お稽古指導・勉強を教えること並びにサポーター・活動補助・お世話役についても可能であり、ある程度期待できることも分かった。



### 6-5 地域活動全般に関するご意見等

地域のボランティアの方々に対する感謝の意を多数頂いた。又、様々なご意見もあった。以下、今後の活動にあたって参考になる或は共感できると思われるご意見を列記する。

- ① 地域全体で子どもを守れたら良いと思う。悪いことをしていたらお互い注意しあう等。
- ② 下校時の見守りも登校時と同じくらいお願いできないか。又、防犯カメラを増やして欲しい。「みまもりめ」も。
- ③ 地域活動のお手伝いを義務化しない。地域活動は協力できる方のある範囲で行う。
- ④ あかしあ台公園に夏季脱水防止のための自販機を設置して欲しい。又、あかしあ台公園に大人たちが子どもの見守りがてらにできる健康器具を備え付けて欲しい。
- ⑤ 地域を良くするための講習会や音楽会等があっても良いのでは。

### 7. おわりに

今後、本アンケートの結果を踏まえて、放課後の子どもの居場所づくりについて、地域として、どのように取り組んでいくべきか検討を深めていく必要がある。(文責:子ども部会 長谷川拓三)

### 添付資料

#### (1)子どもネットワーク会議メンバー

- ① 廣嶋隆輔(民生委員・児童委員)、② 藤野靖夫(青少年補導員)、③ 伊藤正彦(あかしあっ子広場実行委員会)、④ 谷淵建志(ふれあい活動推進協議会)、⑤ 岸本優子(あかしあ台小学校PTA)、⑥ 内布茂充(スポーツクラブ21あかしあ)、⑦ 奥村芳和(あかしあクラブ)、⑧ 長谷川拓三(あかしあ台サポットクラブ)、⑨ 今井克(あかしあ台自治会)、⑩ 梶野正義(さくら坂自治会)、⑪ 藤野千恵子(あかしあ台・さくら坂主任児童委員)、⑫ 渡邊早智子(あかしあ台小学校コーディネーター)、⑬ 福井加寿子(あかしあ台小学校)、⑭ 伊原聡子(一般参加&保護者)、⑮ 岡村佳高(あか小校区まち協)

途中交代:大西三男(民生委員・児童委員)、堀内俊一(あかしあクラブ)、西本哲(さくら坂自治会)、中島喜代氏(あかしあ台小学校)、山野容子(あかしあ台小学校PTA)

主たる参加:岡田和士(あかしあ台小学校)、赤井典子(民生委員・児童委員)、塩見康二(あか小校区まち協)

#### 添付資料(2)アンケート調査項目

- Q1. お子さんの性別を選んで、学年及び兄弟姉妹の人数をご記入ください。
- Q2. 平日の放課後、お子さま以外に主に自宅にいる方はどなたですか?
- Q3. 平日の放課後、お子さんは主にどのように過ごしている(と思われる)ますか?
- Q4. 平日の放課後、お子さんにどのように過ごして欲しいと思っていますか?
- Q5. 休日、お子さんはどのように過ごしている(と思われる)ますか?
- Q6. 休日、お子さんにどのように過ごして欲しいと思っていますか?
- Q7. 次に、地域で取り組む「放課後の子どもの居場所」についてお尋ねします。今後、どのようにするのが良いと思われますか?
- Q8. 上記Q7に関連して、具体的なイメージがありましたら、その内容をお聞かせください。
- Q9. 子どもの居場所づくり活動に、一緒にご協力して頂ける可能性についてお聞かせください。
- Q10. 放課後の子どもの居場所とは別に、地域活動全般に関する自由なご意見をお聞かせください。